姉妹都市・友好都市とのスポーツ交流

本市は福島県下郷町、山梨県北杜市、千葉県勝浦市と姉妹都市・友好都市としての関係をはぐくんでいます。その中で、スポーツを通じ市町民の相互理解を深め、さらに交流事業の充実によって各市町がより一層発展することを目的に、本事業を毎年行っています。

○下郷町（西東京市民参加人数44人）
・実施日…平成17年9月17日・18日
・会場…下郷町大川コミュニティセンター
・競技種目…バレーボール（女子）、グラウンドゴルフ

○北杜市（同22人）
・実施日…平成17年11月26日・27日
・会場…北杜市立須玉町のろしの里公園
・競技種目…グラウンドゴルフ

○勝浦市（同・小学生27人）
・実施日…平成17年11月6日
・会場…西東京市西原総合教育施設
・競技種目…ソフトボール、ミニバスケットボール

◆スポーツ振興課（内線2714）

多摩六都少林寺拳法大会

昨年11月20日、東久留米市スポーツセンターにおいて、多摩北部広域行政圏協議会（多摩六都）事業として少林寺拳法大会が開催されました。この大会は、市域を越えた隣接の各市が相互に連携し、5市がスポーツを通じ共通する行政課題を効果的に推進していくため、毎年開催されるものです。清瀬市が優勝し、本市は準優勝でした。

◆スポーツ振興課（内線2714・2715）

「少年サッカー教室」・「少年野球教室」を実施

今年度も、少年サッカー教室（昨年7月17日）と少年野球教室（昨年11月6日）が向台運動場および市民公園グラウンドにおいて開催されました。

サッカー教室は、FC東京のコーチングスタッフの方々をお迎えし、約800人の児童が参加、少年野球教室は、元ライオンズの大田卓司さん、藤野正剛さんほか5名の方々を講師にお迎えして、約600名の児童が参加しました。

両教室とも晴天に恵まれ、講師の丁寧で熱心な指導に子どもたちの元気な歓声がグラウンド中にこだましました。各チームの監督やコーチも真剣に耳を傾け指導を受けていました。

両教室終了後は講師を囲んで記念撮影をするなど、和やかな雰囲気の中で事故もなく無事終了することができました。

◆スポーツ振興課（内線2714）

青嵐中学校校舎等建替工事

青嵐中学校校舎・体育館の建替え工事は基礎工事が完了し、現在、上階部を施工中です。工事は、来年2月の完成に向けて予定どおり進んでいます。

近隣の皆さまにはご迷惑をお掛けして大変申し訳ございませんが、引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

◆教育庶務課施設係（内線2614）

碧山小学校仮設校舎建設工事

来年度の児童数増加に伴い、現在、碧山小学校校庭の一部に仮設校舎を建設しています。

この仮設校舎に図書室を移動し、図書室を改修して2クラスの普通教室として新年度から使用します。仮設校舎の建設は2月中に、図書室の改修は3月末には完了します。

児童の安全には十分配慮して工事を行いますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

◆教育庶務課施設係（内線2614）

箏曲（そうきょく）全国大会で銀賞獲得

富士町在住の鈴木真為（まい）さんが、昨年12月4日、福岡県久留米市の石橋文化ホールにおいて開催された、第12回賢順（けんじゅん）記念全国箏曲祭（賢順記念全国箏曲祭実行委員会主催）の全国箏曲コンクールで難関を突破し、見事銀賞を獲得されました。

この全国箏曲コンクールは、箏曲の流派を超えて開催されたもので、各地の予選を突破した25人で競われました。

鈴木さんのご活躍をたたえると同時に、今後のより一層の研さんを期待します。

◆社会教育課（内線2711）

教育相談の窓口から「聴くこと」とは

子どもの話を聴くことは大切だと言われています。そして、それを日頃から心がけている方も多いことと思います。少しその場面を思い出してみてください。話を聴いてもらえて、子どもはどんな表情でしょうか？

話を聴くという行為は一見、簡単なことのように考えられています。しかし、実際にはとても難しい行為です。いくら、大人が話を聴けたと思っていても、子どもがそう感じていないとしたら、それは話を聴けたということにならないのではないでしょうか。

話を聴くということは、話の内容を聴くことだけではありません。心の状態は人の様々な部分にあらわれます。例えば、表情や身体の緊張、姿勢、声の調子等、挙げればきりがありません。こうした子どもの発するたくさんのサインを読み取りながら、子どもの心の状態を想像し、その理解が正しいのか確かめながら聴いていくことが大切です。

最も大切なことは、話を聴いてもらった結果、子どもが「話を聴いてもらえた」という感覚を持つことです。そのために、大人は話を聴く時、いつも子どもの反応を確かめながら、この話の聴き方でうまくいっているのか、自問自答しながら話を聴くことが大切だと思います。

◆教育相談課（内線2641）

教育委員会報告

【第10回定例会・平成17年10月25日】

〈可決〉
○平成17年度西東京市教育委員会表彰について
○西東京市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
○西東京市立学校職員服務規程の一部改正について

【第3回臨時会・平成17年11月15日】

〈可決〉
○西東京市スポーツ施設条例の一部を改正する条例（申出）
○西東京市スポーツ施設の指定管理者の指定について（申出）

【第11回定例会・平成17年11月29日】

報告事項のみ

【第12回定例会・平成17年12月27日】

〈可決〉
○西東京市社会体育施設使用料の適正化について（諮問）

〈趣旨採択〉
○小・中学校教科書採択にあたって教科書の「絞り込み」を完全撤廃する陳情

教育委員会定例会開催のお知らせ

毎月開催される教育委員会定例会を傍聴することができます。日時・会場については広報西東京・市ホームページでお知らせしています。

◆教育庶務課庶務係（内線2611）

シリーズ 西東京市文化財 文化九年検地図（ぶんかきゅうねんけんちず）（市文化財第19号）

短冊状に描かれた青梅街道沿いの屋敷図と、周辺の耕地の様子がかかれた村絵図です。耕地が検地の年次別に色分けしてあり、開発の進展状況が分かるもので、江戸時代の文化9（1812）年に作成されました。縦138・5cm、横124cmで布紙裏打ちとなっています。

検地は近世を通じて行われた政策で、農村支配の基礎を強化する目的で豊臣・徳川両政権時代に実施されました。天正10（1582）年、豊臣秀吉が初めて全国的な規模の土地測量を行い（太閤検地）、新しい租税の体系を作りました。

文化九年検地図は、村明細帳添付の控えと考えられるものですが、仕立人、名主、組頭9名、百姓代2名の村役人が認証し、署名・押印したものはこれだけのようです。検地の年次は、寛文10（1670）年、元禄3（1690）年、享保18（1733）年、元文元（1736）年の4回で、それぞれ白、青、黄、茶で色分けされています。縮尺は三千分の一で、正確な測量を基に記載されています。青梅街道は、六百分の一で記されています。

江戸時代の村の様子が分かる貴重な歴史資料として、昭和57年に市の文化財に指定されました。現在の所在地は、田無町2―10―8です。

市文化財保護審議会委員　都築　恵美子